



みたけ

議会のたより



**御高町議会が更なる活性化に向けて前進！
11議員が町政について一般質問！**

12月10日(火)、11日(水)に議員12人体制で最多となる11人が登壇し、一般質問を行いました。
議員一人ひとりの政策提言をいろいろな角度から議論しました。
今後も御高町議会に注目してください。

Contents

- 2P 一般質問
- 10P 第4回定例会
- 13P お知らせ

一 般 質 問



福井 俊雄 議員…………… 3ページ
 ○町内商工業の実態と今後の対策について
 ○らくだネットの活用状況について

安藤 雅子 議員…………… 4ページ
 ○防災リーダーの活動について

安藤 信治 議員…………… 4ページ
 ○迅速・的確な避難行動による
 「逃げ遅れゼロ」を目指して

山田 儀雄 議員…………… 5ページ
 ○新庁舎整備に伴う木質バイオマスボイラー
 導入について

谷口 鈴男 議員…………… 5ページ
 ○各種がん検診の今後のあり方について

加藤 保郎 議員…………… 6ページ
 ○町営住宅の管理運営について

清水 亮太 議員…………… 6ページ
 ○AED 施策について

岡本 隆子 議員…………… 7ページ
 ○リニア残土処分について
 ○太陽光発電についての町の姿勢は

奥村 悟 議員…………… 8ページ
 ○旧名鉄八百津線廃線跡地の活用について
 ○本町のメンタルヘルスマネジメント対策について

大沢 まり子 議員…………… 9ページ
 ○食糧備蓄の現状と計画
 ○防災意識の向上を目指して

伏屋 光幸 議員…………… 10ページ
 ○願興寺本堂修復工事について

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が町に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容がありますか？

きいてみたいな、
こんなこと



文責についてお知らせ

一般質問の「問・答」は、質問議員本人の文責です。一般質問のページに掲載した内容について、議員に直接連絡がつかない場合は、ご質問の内容、お名前、連絡先（住所、電話番号等）を添えて、議会事務局まで書面にてお届けくだされば、各議員に連絡いたします。

内容について

掲載してある質問、答弁は要約となっております。会議録は町ホームページや議会事務局で閲覧できます。

一般質問

問 町内の事業所数の減少と古くから営業している小売店の閉店が続く現状に対しての考えは

答 日本は、少子高齢化時代に対応できるまちづくりに失敗したと思っている。商業施設の郊外化、大型化はまちづくり自体を大きく変え、結果的に自動車社会への利便性を優先した道路整備を行ってきた。それに伴って公共交通は衰退し、小規模店は閉店へ追い込まれたと言える。町内の事業所数は減少しているものの、そこで働く方々は増加している。つまり、サラリーマンの道を選んだ方もいる。時代とともになくなる業種もあれば、想像もつかない業種も生まれてきている。このように事態や状態も変化していく中



福井俊雄 議員

問 町内商工業の実態と今後の対策について

答 商工会、商工業者と協議を重ねたい

で、困っていく町民も必ず出てくる。そこへどう手を差し伸べるか、その方法を考えていかざるを得ない。まずは買い物難民を出さないために、ボランティアや地域の方々が自分たちの力でやろうとする気持ちを喚起していきたい。事業者に対して、新規事業者には、国の補助金制度が多くあり、活用を勧めながら応援はしていきたい。しかし、補助金制度の対象期間が終了すると、事業を終えていく事業者も少なくないので、そこは見極めていく必要がある。また、現存する事業者には、商工もも含めて後継者の生まれる事業に対し、支援していきたい。現時点でどのような形かわからないが、今後商工会、商工業者の方々と協議を図りながら具体的な施策に移っていきたい。

問 らくだネットの活用状況について

答 協力店舗を増やし、利用者増につなげたい

問 らくだネット（御嵩町送迎配達店舗ガイド）の実情と、利用者拡大に向けた対策は

答 「らくだネット」は高齢になっても住み慣れた町で安心して生活していけるようにとの目的で平成27年1月より始まった。生活に必要な物品の購入や、通院などで日常の行為が難しくなった方に、送迎や配達、訪問に協力していただける店舗の情報を提供しており、現在の協力店舗は44店舗となっている。利用者からは非常に好評を得ており、更なる協力店舗数の増大が望まれている。

御嵩町は、益々高齢化が進み、今までもどりの生活を続けていくことが非常に困難になると予

測される。住み慣れた自宅での生活を維持していくためにも「らくだネット」の活用は非常に有益なものと考ええる。そのため一人でも多くの方に「らくだネット」について知っていただき、利用してもらうことが重要である。

今後、商工会の協力を得ながら、登録店舗を増やし、高齢者に関わりのあるケアマネージャーなどを通じて、PRを行い「らくだネット」の利用者増につなげていきたい。



このマークにご注目！



安藤雅子 議員

問

防災リーダーの活動について

答

今後も支援を継続する

問 防災リーダーへの支援と自主防災会への所属について

答 【総務部長】

平成24年度から防災アカデミーを開講し、現在の防災リーダーは256人。この内、町内在住者は218人、更に防災士が150人となっている。発災時には地域の中で自主的に活動する趣旨を理解いただき、平成28年度には、防災リーダー会が設立され、手探り、試行錯誤で様々な活動をいただいている。また、女性防災リーダーの地道な活動にも、感謝の声が聞こえてきている。現在、防災リーダー会の事務局を町が担っており、今後も継続的な支援をしていくと同時に、防災リーダーの活動に持ち出しが無いよう、活

動費の予算化も進めていきたい。

自治会員の少数化や高齢化に伴い、防災リーダーの選出が困難な自治会も見えてきた。近隣の自治会との連携などを含めて、御嵩町自治会長連絡協議会などの機会に、自治会に複数人の防災リーダーの養成を依頼しつつ、防災リーダーによる自主防災組織の強化につなげていきたい。



安藤信治 議員

問

迅速・的確な避難行動による「逃げ遅れゼロ」を目指して

答

周知徹底に知恵を絞っていく

問 土砂災害などからの逃げ遅れによる犠牲者を一人も出さないため、避難情報の伝え方を今一度見直し、町民一人ひとりの危機意識を向上させるための施策を問う

答 【総務部長】

平成20年8月から9月にかけて東海地方を襲った局地的豪雨を機に、避難勧告などが適切なタイミングで適当な対象地域に発令できていないことや、住民への迅速・的確な伝達が難しいなどの要因を踏まえ、平成22年6月に「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を策定した。平成31年3月の「避難勧告等に関するガイドライン」（内閣府）を踏まえ令和元年6月に本町のマニュアルを改訂し、運用している。

今後は高齢者などを対象に、自らが住まいの地域で起こりうる災害の確認をする機会を作るなど、周知徹底をどのように図っていくか民生部と協議し知恵を絞っていく。



目指せ防災リーダー



避難所の表示看板

一般質問

③ バイオマスボイラーの導入は、一般的な施設と比較してその設備導入から維持管理に係る経費が最低でも同等、あるいはそれ以上の経費節減が図られる

【問】 導入に向けた課題として
 ① ボイラー稼働による騒音と臭気は
 ② バックアップ機能は
 ③ 経費の削減効果は

【答】
 ① 騒音はボイラー設備内の送風ファンの能力により騒音規制法の対象となる。臭気については、適切な運用により臭気を抑え込むことができる。
 ② バイオマスボイラーの稼働期間は冬季であり、夏季はエアコン稼働となるため、エアコンがバックアップとなる。
 ③ バイオマスボイラーの導入は、一般的な施設と比較してその設備導入から維持管理に係る経費が最低でも同等、あるいはそれ以上の経費節減が図られる



山田儀雄 議員

答

問

【問】 新庁舎建設に伴う木質バイオマスボイラー導入について

【答】 新庁舎への導入は決定していない

ことが条件である。



視察した木質バイオマスボイラー

【問】 各種がん検診の抜本的な見直しの考えは

【答】 本町は、全部で6種類のがん検診を行っており、各種がん検診の受診率は県平均と比べて高いものもあり、極端に低くはないが低調である。
 今後、受診率の向上や検診の精度を上げるべく研究・検討をしていく必要がある。受診率の向上については、ミミタポンプの更なる活用や保健推進員による啓発活動の充実を図る。検診の精度を上げることにについては、受診者とのコミュニケーションを深め、問診票による個別の



谷口鈴男 議員

答

問

【問】 各種がん検診の今後のあり方について

【答】 個別対応の強化、検査方法の見直しなどを医師会、検査機関と協議する

対応などの強化や読影など検査方法の見直しを可見医師会、検査機関と協議していきたい。



加藤保郎 議員

問

町営住宅の管理運営について

答

環境配慮をしつつも耐震化は困難

問

①町営住宅用地の草刈りなど環境管理の考えは

②町営住宅の一部をリフォームする考えは

③滞納者に対する措置方針は

④町営住宅の耐震状況は

判断が必要となる。

③町営住宅の維持管理には、家賃収入以外にも税金を投入して

いることを滞納者に説明し未納解消に向けた努力をする。

④少しでも新しい住宅への移転・集約を進め、補強が可能な

ものから耐震補強を検討したい

が、入居戸数が119戸である

ことからその集約が困難であり

耐震化は、一朝一夕には行えない。

答

【総務部長】

①町営住宅の環境美化は、入居者による管理を基本としている。高倉町営住宅は、解体が可能な古い住宅より取り壊しを進めてきた。これにより空き地が

広大となっていることから、周辺環境に配慮した草刈りを検討

していく。

②リフォームに合わせたインフラ整備を実施した場合、整備費用などを考慮した家賃設定になる。町営住宅入居者の高齢化が進む中、リフォームには慎重な



草が繁茂した高倉住宅

問

AED施策について

答

予算を考慮したうえで公共施設に配備していく

問

①AED設置促進策の現状と今後の取り組みは

②AED周知の取り組みは

③既存のAED設置場所の工夫と24時間利用については

亜炭鉱の4項目を一冊にまとめたものであり、指定避難所の記載とともに、AEDの設置も明示していることから、全てを網羅したハザードマップで町民に周知している。

③設置場所を玄関先に変更するなど、その表示方法と併せ、利用者目線で考え改善していく。

24時間利用については、セキュリティ面をクリアできる箇所から実施していく。

答

【副町長】

①予算を考慮したうえで、今後、未設置の公共施設に配備していく。

各自自主防災会におけるAED

設置に対し、御嵩町自主防災組織

設備等補助金交付要綱に基づき

助成を行っている。また民間

企業が配備するAEDについても、緊急時においてAEDを提供していただけるようなAED協力事業所制度を創設する。

②御嵩町防災ハザードマップは、土砂災害、洪水、地震及び



お近くのAEDはどこにありますか？

一般質問



岡本隆子 議員

問

リニア残土処分について

答

非常に難しい問題
熟考したい

問

①町有地への発生土の受け入れをどのように考えるか
②対策土の受け入れについてどのように考えるか

③町民への情報公開と合意形成は
④町はいつまでに決断するのか
⑤今後の県との関わりは

答

【企画調整担当参事】

基本的な事柄を整理すると、当該地は、工業団地などでの活用を視野に議会の議決を経て取得したものである。対策土については、町内の工区から搬出されるもので、公道を通行せず運搬でき、住民への影響などを低減できるとのことである。また、リニア中央新幹線計画での町の位置付けは、全国新幹線鉄道整備法で、地方自治体は必要な措置を講ずるよう努めるものと規定され、県期成同盟会では、町長と議長が役員に就任しているほか、当町からは商工会と観光協会が賛同団体となっている。
⑤今後の議論にもよるが、関係

部署との情報共有を行っていき
たい。

答

【町長】

①町内から発生した土を町内で処分することは極めて正当な考え方でもあるが、対策土について、具体的な計画が示され、非常に戸惑っている。直ぐに答えはでない。

②土を掘れば出る可能性はあるが、健康被害が生じないよう基準値が設けられており、適正に調査、検査の上、管理されなければいけない。様々な情報や工法を研究しながら、考える時間を十分とっていきたい。

③説明はしていきたいが、現段階では決まっていない。受け入れることを前提とする合意形成なら具体的に考えていない。

④判断するのは町側、最低でも1年は必要。判断を間違えれば町内が紛糾してしまう非常に難しい問題。

問

太陽光発電についての町の姿勢は

答

法改正に向けて働きかけていく

問

①太陽光発電に対し、町の姿勢はどうか
②可児市兼山に計画されている太陽光発電施設は、巨大な計画でもあり可児市との協議や県への働きかけは

答

【町長】

①自宅の電気を賄うために、自宅の屋根に太陽光発電装置を設置することは推奨しているが、ビジネスで行う太陽光発電に対しては危機感を抱いている。太陽光発電はエネルギー問題であって、今も苦しむ亜炭鉱問題に通底する。法律より厳しい規制は条例ではできない。法改正へ向けて働きかけていく必要がある。

の嘆願書が提出された。御嵩町の住民が多大な影響を永年受け続けるため、住民が安心して生活できるように、林地開発許可権限を持つ岐阜県知事並びに事業地の可児市長宛てに、慎重な指導と審査を依頼する「岐阜県可児市太陽光発電設備設置に関する要望書」を提出した。
県、市の担当者には、御嵩町の現状を理解していただいた。今後は情報を共有しながら対応していく。

②地域住民などから、計画反対

答

【建設部長】



計画地付近



奥村 悟 議員

問

旧名鉄八百津線廃線跡地の活用について

答

有効活用と財源確保に努める

問 伏見児童館から兼山までの約600mの旧名鉄八百津線跡地は未整備のままである。活用について今後の方策は

答

【総務部長】

名鉄八百津線の廃線により、平成15年に町内の廃線跡地約1.2kmを所有することとなり、平成25年度には伏見にここに館を中心にした散歩コースとして582mを整備した。これより兼山側への約600mの未整備区間については、今年度、若者が組織する「御嵩あかでんランド実行委員会」により、「オールドレイルウェイ八百津」としてイベントに活用された。八百津町や兼山のように、道路として整備したとしても、多くの方にご利用いただけるのかということ



有効活用を期待する旧名鉄八百津線跡地

にもなる。また、この沿線の地形を考慮すると多額な事業費を要することから、引き続き地域の方にとってより良い活用の提案に耳を傾けつつ、有効な活用とそれに要する有益な財源の確保に努めたい。

問

本町のメンタルヘルスマネジメント対策について

答

ストレスを溜めない職場環境づくりに取り組んでいる

問 ①職員がメンタルヘルス不調に陥ることを未然に防止する取り組みは

②メンタルヘルス疾患になった職員のケア、復職後のサポートは

③厚生労働省の指針という「心の健康づくり計画」を策定する考えは

答

【副町長】

①毎年、健康診断と併せてストレスチェックを実施している。結果表を職員へ配布するとともに、健康相談窓口の案内も同封している。管理監督者の役割は重要である。日頃から部下に関心を持って接し、積極的に話を聞くことが大切であり、課長会議において注意喚起をしている。仕事の効率を上げるよう、疲れた時などリフレッシュが重

要であり、計画的な有給休暇取得を全職員に奨励している。

②長期間休職していた職員が、円滑に職場復帰できることを目的に、「御嵩町職員の復職支援実施要綱」及び「御嵩町職員の試し出勤実施要綱」を制定した。復職前に1ヶ月ほど、試し出勤を実施し、復職できるか判断している。

③御嵩町役場の実態に即した「心の健康づくり計画」を、他市町村の事例を参考に策定する。



先進市町の心の健康づくり計画



大沢まり子 議員

問

①妊産婦及び乳幼児の避難

②液体ミルクと使い捨て哺乳瓶

を備蓄することへの考えは

③非常時の食料確保協定を結んでいる事業所の現状と今後の計画は

答

【総務部長】

①発災時には妊産婦、乳幼児を抱える親への様々な配慮が必要と考える。授乳や女性の着替えなどに配慮し、本年度は簡易仕切りや屋内、屋外用テントの購入を予定している。今後も様々なプライバシーに配慮した防災用品の準備を進める。

②乳幼児を抱える家庭での準備を一番にお願いし、その量や備蓄方法、場所などを検討し備蓄品として導入を進めたいと考えている。

答

発災の備えを着実に進める

問

食糧備蓄の現状と計画

③消防・防災に関する協定を48

の近隣市町や事業所と締結している。この内、食糧や飲料については、8件の協定を締結している。今後も事業所などの厚意に基づき協定の締結を進めていく。

答

自助・共助の手法を広めたい

問

防災意識の向上を目指して

問

①妊産婦及び乳幼児のお母さん

さんなどへの防災教育について

②安否確認タオルの活用について

答

【民生部長】

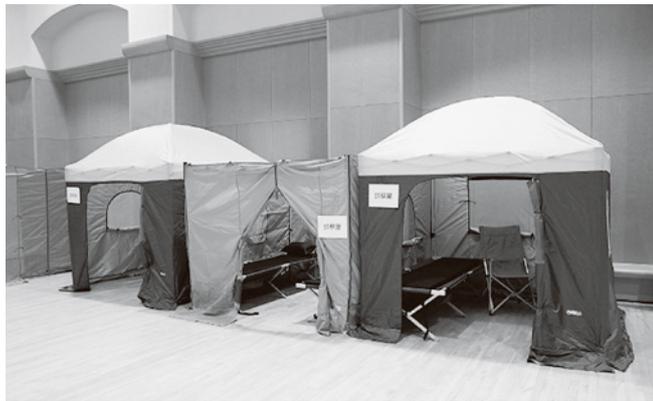
①妊産婦及び乳幼児のお母さんなどへの防災教育は必要と考える。乳幼児のお母さん向けの防災教育は実施しているが、妊婦の方への防災教育は実施していない。冊子やチラシを作成し、ポイントを絞った説明や、目を通してもらえるよう案内をしながら配布していく。また、母親学級の講義の中に入れ込むなど、先進事例を参考に、実施に向けて関係部署とともに研究・検討していく。

答

【総務部長】

②安否確認タオルは、災害時に「今居る家族は大丈夫！他の方を助けて！」というメッセージを道路から見える場所に掲げることにより、外から一目で無事を確認できる非常に有益なものである。

災害時には非常に効果の高いものとして、自主防災会などで準備が進められており、本町においても、全町的に紹介することによって、町民の防災意識向上につなげていきたい。



移動式テント



大庭台安否確認訓練



伏屋光幸 議員

問

願興寺本堂修復工事について

答

厳しく見守ります

問 ①寄附金や工事見学会の状況は

②修復工事第2期工事入札結果について

③霊宝殿の今後について

答 【教育参事】

①寄附金の状況は、11月15日現在、一般と指定寄附金を合わせて、寄附者834件、4,422万8,548円である。また、工事見学会は、春の薬師祭礼時や町内小中学校の霊宝殿見学会を合わせたふるさと学習見学会を実施し、これまで延べ20回、1,606人の参加者があった。

②本堂第2期工事の進捗を見極めながら、霊宝殿の耐震性を分析した上で耐震化を考え、重要文化財である24体の仏像の転落防止の方法、充当できる財源の確保などを進めたいと考えている。

答 【町長】

②設計金額と落札価格に大きな差があった点に関しては、文化財建造物保存技術協会の設計士

第4回 定例会 12月6日～12月13日

- 令和元年度補正予算など、議案16件を審議・採決
- 11議員が町政について質問

第1日目 (12月6日)

- ・議長報告 (6件) ・各議案の上程、提案理由の説明 (16件)
- ・議案の審議・採決 (1件)

第2日目 (12月10日)

- ・一般質問 (7議員)

第3日目 (12月11日)

- ・一般質問 (4議員)

第4日目 (12月13日)

- ・議案の審議・採決 (15件)



議長報告

- 福祉保育職場の大幅な増員と賃金の引き上げの実現をめざし国に対し意見書提出を求め
る陳情
- (陳情者 全国福祉保育労働組合東海地方本部 執行委員長 越須賀舞)
- 「歯科口腔保健の充実と保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書」の採択を求める陳情
- (陳情者 岐阜県保険医協会 会長 浅井徳光 歯科代表 柴田学)
- 常任委員会所管事務調査報告書
- 議員派遣報告書
- 定例監査実施報告書
- 例月現金出納検査の結果について (令和元年8月分から10月分まで)

固定資産評価審査委員

固定資産評価審査委員会委員に山口和美氏が選任同意されました。(再任 2期目)
任期は令和元年12月21日から令和4年12月20日までの3年間です。



山口 和美氏
伏見 (高倉)

条例の改正

- 御嵩町災害弔慰金の支給等に関する条例の改正
 - ① 災害援護資金の貸付の償還・償還金の猶予規定の新設
 - ・ 償還金免除規定の拡大
- ② 御嵩町災害弔慰金等支給審査委員会の設置

令和元年度補正予算

- 一般会計
 - 亜炭鉱跡防災対策事業費の補正、新庁舎整備関連予算の債務負担行為の追加・変更による設計委託料などの減額、上之郷中、向陽中空調設備整備事業費の追加などの補正です。
- 国民健康保険特別会計
 - 保険給付費の減額などの補正です。
- 介護保険特別会計
 - 介護保険事業費の増額などの補正です。
- 水道事業会計
 - 新庁舎等整備関連水道予算の債務負担行為の設定による設計委託料減額の補正です。
- 下水道事業会計
 - 新庁舎等整備関連下水道予算の債務負担行為の追加による設計委託料減額の補正です。

会計	補正額	補正後の総額
一般会計補正予算 (第4号)	1億5,211万7千円の減	97億8,822万3千円
国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	383万円の減	23億1,103万7千円
介護保険特別会計補正予算 (第2号) (サービス事業勘定)	20万円の増	941万円
水道事業会計補正予算 (第1号)	700万円の減	8億5,100万円
下水道事業会計補正予算 (第2号)	880万円の減	12億4,315万円

審議結果

すべて
全会一致
でした



定例会

議案番号	事 件 名	結果
議案第49号	御高町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可決
議案第50号	令和元年度御高町一般会計補正予算(第4号)について	可決
議案第51号	令和元年度御高町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第52号	令和元年度御高町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第53号	令和元年度御高町水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第54号	令和元年度御高町下水道事業会計補正予算(第2号)について	可決
議案第55号	御高町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第56号	御高町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第57号	工事請負契約の変更について(平成30年度南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業 第2、3期防災工事)	可決
議案第58号	工事請負契約の変更について(平成30年度南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業 第4期防災工事)	可決
議案第59号	財産の取得について(消防ポンプ自動車の購入)	可決
議案第60号	指定管理者の指定について(高齢者いきがい活動支援センターみたけの指定管理者「株式会社技研サービス」)	可決
議案第61号	指定管理者の指定について(高齢者いきがい活動支援センターふしみの指定管理者「一般社団法人 みたけスポーツ・文化倶楽部」)	可決
議案第62号	指定管理者の指定について(みたけ健康館の指定管理者「一般社団法人 みたけスポーツ・文化倶楽部」)	可決
議案第63号	指定管理者の指定について(あゆみ館の指定管理者「特定非営利活動法人 ささゆり」)	可決
議案第64号	岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について	可決

議会日誌

(11月~1月)

11月

- 2日 中山道往来
- 5日 議会報編集委員会
地方自治連絡協議会
- 8日 可茂町村議会議長会
- 11日 議会活性化研究会
全国環境整備事業協同組合連合会大会
- 12日 民生文教常任委員会文教施設訪問
- 13日 町村議会議長全国大会
- 17日 松の湖グリーン作戦
- 19日 議会運営委員会
- 20日 可茂地域市町村議会議員研修会
- 23日 可児郡PTA研究大会
政権与党国会議員との意見交換会
- 24日 可児郡消防連合演習
東白川村立村130周年記念式典
- 25日 総務建設産業常任委員会協議会
- 26日 民生文教常任委員会協議会
中濃地域農業共済事務組合議会定例会

12月

- 2日 県町村議長会・評議員会
- 3日 議員全員協議会、議会運営委員会
議会活性化研究会
- 6日 第4回定例会(初日)
- 8日 可児駅伝競走大会
- 10日 第4回定例会(一般質問)
- 11日 第4回定例会(一般質問)
- 12日 共和中学校音楽祭
- 13日 第4回定例会(最終日)
議会報編集委員会
- 15日 中部国際医療センター新築工事起工式
- 17日 地元国会議員訪問(東京)
- 18日 各種団体との意見交換会(上之郷公民館)
- 20日 名鉄広見線活性化協議会
- 23日 可児川防災ため池組合議会定例会
- 25日 可茂広域一部事務組合議会定例会
仕事納めの式
年末夜警出発式

1月

- 1日 迎春の会
- 5日 消防出初式
- 6日 仕事始めの式
- 7日 議会活性化研究会
- 8日 議会報編集委員会
- 12日 成人式
- 15日 可児青年会議所新年式典
- 16日 議員研修会
- 19日 各種団体との意見交換会(伏見公民館)
- 20日 議会報編集委員会
- 21日 各種団体との意見交換会(御嵩公民館)
- 22日 各種団体との意見交換会(中公民館)
- 24日 可茂地域町村行政懇話会
- 25日 東海環状自動車道付加車線起工式
- 27日 議会活性化研究会
- 28日 議会報編集委員会
- 29日 地方財政対策等説明会
- 31日 議会運営委員会、議員全員協議会

お知らせ



次回

令和2年

第1回定例会(予定)

- 3月4日 開会日
(議案説明)
- 3月10日 一般質問
施政方針に対する質問
- 3月11日 一般質問・委員会付託
- 3月19日 最終日
(審議・採決)

※日程は都合により変更となる場合があります。
※審議内容などは町ホームページに掲載します。

一般質問はケーブルテレビで見
ていただけます

一般質問の様子が生中継(場合によっては録画放送)
されます。ぜひ、ご覧ください。

議会傍聴を歓迎

ご希望の方は、議会当日、議会事務局受付(役
場2階)で住所、氏名等を所定の用紙に記入後、
傍聴券をお受け取りください。議場傍聴席で傍
聴できます。ぜひ、直接ご覧になってください。

編集後記

新しい編集委員になり、
二回目の議会のたよりが
できあがりました。まだ
まだ手さぐりではありま
すが、少しでも多くの皆
様に議会の活動を伝えて
いきます。

今回議長からの呼びか
けもあり、全員で一般質
問を行いました。このこと
が本号の目玉になっていま
す。私自身も気づかなかっ
た事が再発見できました。
多種多様な質問に目を通
していただければ幸いです。

今後も、議会のたより
で議会の活動をわかりや
すく伝えていきたいと思
いますので、よろしくお願
い
します。

F・T



ご案内はミームくんでした。
次号は5月15日発行（第1回定例会）
予定です。また見てくださいね。



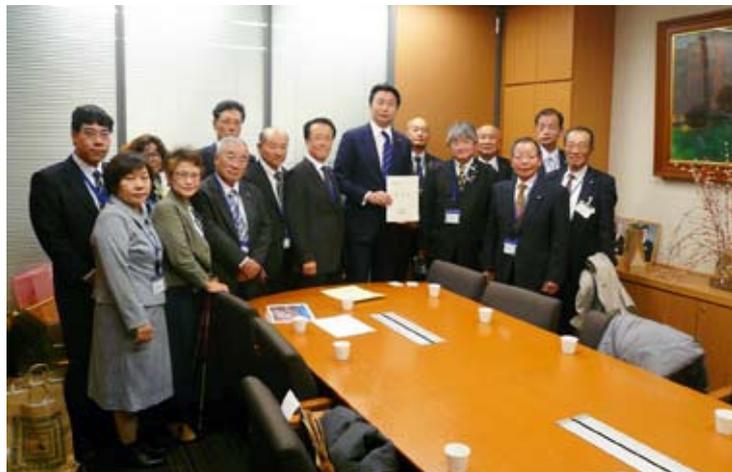
学校等文教施設訪問

11月12日（火）に、民生文教常任委員会委員は、学校教育現場の現状などを把握し改善につなげるため、御嵩小学校、給食センター、オアシス教室を訪問しました。



可茂地域市町村議会議員研修

11月20日（水）に、可児市文化創造センターで、名古屋大学教授の福和伸夫先生を講師に、震災などの災害対策について研修を受講しました。



国会議員への要望活動

12月17日（火）に、地元選出国会議員と面談し、亜炭鉱跡防災対策事業の延長や、庁舎整備における木材利用補助制度の新設など、要望活動を行いました。